

第15回 宮城県災害対策本部会議 議事要旨

- 1 日 時
平成23年3月15日 18時00分
- 2 場 所
県庁行政庁舎4階 庁議室
- 3 配付資料
第15回宮城県災害対策本部会議資料
- 4 議事要旨

○阿久津内閣府大臣政務官

- ・市村国土交通政務官と一緒に南三陸町を現地調査した。町長から復興への意欲聞けて勇気づけられた。
- ・行方不明者の捜索続けられているが、生存者の生活支援に力点が移っている。連絡手段の確保や食料、水、毛布、燃料、医薬品の確保など。持病の薬もそろそろ切れかかっている頃と思われる。
- ・災害査定の簡素化は必ず行う、発電機、費用負担の問題は、政府が必ずやる。

○村井災害対策本部長

- ・燃料が不足の状況。国と協議して対応したい。

○小野寺危機管理監

- ・J X日鉱日石エネルギー仙台製油所の火災は、本日14時30分に鎮火を確認。半径10キロ住民に出していた避難指示（多賀城市、七ヶ浜町）は解除。

○仙台管区气象台

- ・地震活動は相変わらず活発なので、作業には注意が必要。

○今野総務部長

- ・県庁への避難者、職員安否、施設被害等の状況（資料内容）

○佐藤企画部長

- ・網地島ラインは、漂流していた船舶2隻の無事を確認。

○小泉環境生活部長

- ・職員安否、女川原発、水道施設の状況等（資料内容）
- ・水の配送では、ガソリンが不足して廻れなくなる。何とか確保して欲しい。

- ・遺体の関係では、火葬場の灯油と重油が、あと数日で切れてしまう。
- ・福島第一原発の関係で、本日、主管課長連絡会議を設置。本日第一回の会議開催。原発事故に関する相談窓口を3月16日から開始。受付時間は午前9時から午後5時まで（土日、祝日を含む。）場所は、県庁1階県民相談室隣。

○岡部保健福祉部長

- ・登米市立佐沼病院は患者受入可能。
- ・保健師活動支援として、石川県、静岡市から支援に来ている。
- ・石巻赤十字の件は確認中。

○河端経済商工観光部長

- ・石巻合庁は、昨日深夜、救出を終了した。職員150名も避難した。今後、事務所をどうするか検討していく。
- ・NPO 災害ボランティア福井が石巻に到着。その後気仙沼に向かっている。
- ・セントラル自動車から支援物資の申し出あり。

○千葉農林水産部長

- ・津波による家畜死体の散乱が問題になっている。
- ・青森県からりんご30万個の提供申し入れあり。
- ・水産庁の東光丸2,071トンが粉ミルク8千缶、清水150トン、軽油300klを積んで渡航中。到着は明日以降。
- ・全農みやぎから食料、野菜、米の提供の申し出あり。
- ・JAのサービスステーションは何とか使えそうだが、直接タンクローリーに入れるのは法律的な問題もある。

○村井災害対策本部長

- ・どんどん物資が届き出した。多分すごい量になる。捌ききれなくなるので、自衛隊等と調整が必要。

○橋本土木部長

- ・土木公共施設等の状況（資料内容）
- ・交通規制74路線124箇所について規制中、うち61箇所全面通行止め。
- ・JX日鉱日石エネルギー仙台製油所への燃料輸送ルートの確保ができた。
- ・産業道路自衛隊で撤去が進んでいる。
- ・仙台湾沿岸の仙台東部低平地では、排水不良による浸水状態が継続してる。特に仙台空港、鳥の海の周辺。
- ・今後、浸水エリアの排水対策が必要なことから、国交省に排水ポンプによる浸水排水対策を要請する。
- ・港湾道路の瓦礫撤去し輸送道路を確保。
- ・海に多くの遺体があるようだ。港湾の用地を遺体の安置に活用したいと申し出があ

る。夢メッセも使用可能と思われるので、環生部とも調整したい。

- ・仙台空港1500m滑走路について、600m瓦礫撤去完了した。自衛隊が現地に入り、今後のことを調整する。

- ・仙台空港ビルは中2階まで浸水しており、施設は全滅。
- ・仮設住宅の要望等について県職員市町村が巡回予定。
- ・気仙沼土木事務所のうちでは、仮の事務所設置で調整。

○自衛隊

- ・旧北上町4ヶ所道路開通。

○竹内警察本部長

- ・検死班の人員が不足している、県に支援をお願いするのは困難と思うが、信用できるボランティアに手伝ってもらう訳にはいかないか。

- ・遺体収容場所ごとに多く配置してくれれば多いほどいい。仕事はいくらでもある。警察官でなくても出来る仕事も多い。

- ・行方不明相談ダイヤル、5、388人相談があった。

- ・震災に乗じたコンビニ等店舗荒らし、3月13日仙台市内などで30件65万円相当の被害、14日48件の170万、15日34件、56万円。合計で震災以降11件381万円相当の被害、被害予防の呼びかけをしている。

○消防庁

- ・34名生存者救出

○伊藤企業局長

- ・水道施設の被害状況等（資料内容）

○東北電力（株）

- ・停電等の状況（資料内容）

○小林教育長

- ・学校は、建物はあるが使えないケース、建物自体がないケースもある。どのように学校を再開していくか。

- ・東部教育事務所は、東部下水道事務所に移転したが、東松島高校に移す予定。

- ・ユニセフの職員が来て、支援したいとの申し出あり。

- ・兵庫県の教員支援チームから支援の申し出あり。

- ・県立高校の避難者の数が増えており、7200名。

○伊藤企業局長

- ・水道施設の被害状況等（資料内容）

○村井災害対策本部長

- ・新日本石油は、3～5m津波が入り、ご遺体もあり、車もひっくり返っている。何とかタンクは大丈夫だったようだ。最低限の復旧は、明日の朝から土木部が行う。タンクから油を抜く作業を検討中。スピードは30分の1～50分の1になる。ガソリンが行き届くには、まだまだ時間がかかる。
- ・建設機械リース会長から連絡があり、要望があったら出してほしいとのこと。（ユニットハウスなど）各部で、どういう物が欲しいのか要望を取りまとめて総務部に出して欲しい。
- ・被災を受けた市町村への職員の派遣はどうなっているか。

○小野寺危機管理監

- ・石巻市に明日から、出来れば課長級を一人、東松島市にも職員派遣予定。南三陸町、山元町には地方振興事務所から毎日行っている。

○村井災害対策本部長

- ・南三陸町、女川町は役場が機能していないので、県が中心になってやっていかなければならない。

○今野総務部長

- ・市町村課が中心になって調整している。

○村井災害対策本部長

次回は3月16日10時00分に開催する。